



# 兵庫支部NEWS 令和6年11月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel/Fax 078-792-6130)  
兵庫支部ホームページ http://www.ethnic.co.jp メール:7347oabk@jcom.zaq.ne.jp

購読料 12回、1,800円(郵送料込)  
お支払いは下記郵便振替口座へ  
振替口座:00970-5-236766  
口座名:兵庫支部NEWS

## 未来へ踏み出せ一世代を越えてつながる絆 令和6年度同窓会総会・懇親会大盛況

一般社団法人北九州市立大学同窓会の令和6年度総会・懇親会が10月27日(日)リーガロイヤルホテル小倉に於いて開催された。

午前10時から総会が始まり、物故者への黙祷の後

松下小夜子元応援団長(R2地域創生群)の演舞のリードで校歌斉唱、土田久好会長(H05政治)が楽しい時間をお過ごし下さいと挨拶。今年度の功労者表彰者が発表され、本部退任役員



(総会で挨拶する土田会長)功労表彰者6人および兵庫支部津崎久雄氏(S45経済)を含む支部功労表彰者5人の名前が読み上げられた。松田弘志幹事長(S50国文)が令和5年度事業報告や決算報告、令和6年度活動方針や予算を説明・報告し、約20分で総会が終了した。

特別講演会では「アンちゃんから見るニッポン」と題して、北九大准教授で宗像市応援大使のアン・クレシーニ(Ann Crescini)氏が、日本語、外来語、和製英語にまつわる興味深い話がありました。(講演要旨は2頁に掲載)

懇親会は、岩切温慈(イワキハツ)さん(文学部2回生、放送研究会)の司会で始まった。(写真右)これまでOGが務めていた司会役を現役学生が担ったのは初めてだろう。土田同窓会会長と権頭実行委員長の主催者挨拶、武内北九州市長(ビデオ)と柳井学長の祝辞、来賓(学長、副学長、名誉教授等)・議員の紹介、学生代表の挨拶と続き、やっと福島宏治後援会会長(S57経営)ご発声の乾杯は30分以上経っていた。今年度の総会・懇親会実行委員会委員長は権頭喜美恵さん(H26社会システム研究科卒)でこれも初めてのことだろう。(写真左)懇親会会場の中央舞台正面に来賓・議員用のいす席、その両端に2卓ずついす席が昭和30年代



40年代卒の為、そして中央後部に2卓のいす席が女性用に用意されていた。筆者は30年代用の卓に向かったがお二人だけだ。恐らく30年代卒は我々3人以外余りいなかったのかも。5年ぶりに参加し、世代替わりを痛感し、少々寂しい思いでした。

## 兵庫支部忘年会は12月7日(土)正午 出席連絡者20人うち女性5人 急げ! まだ間に合うかも参加申込

初の昼間開催の兵庫支部忘年会は、フレンチレストラン花の館パラディ北野で、会費6000円飲み放題付きで開催されます。異人館街観光を兼ね楽しい一日をお過ごしください。JR三ノ宮駅西ガード下(阪急側)のバス停地下鉄三宮駅前(北行き)でシティループバス乗車北野異人館バス停で下車(約15分¥300)目の前の階段を上り(2~3分)突き当りがレストラン入口。下記時刻表参照  
三宮駅前発:11時20分、27分、40分

出席連絡者(11月25日現在)

安徳信義、津崎久雄、永翁正臣、真島秀幸、矢野真由美、牛丸真寿美、牛丸敬孝、齊藤隆士、平間正昭、楢崎栄子、黒木睦子、渡辺恵子、中牟田修、酒井政好、松尾祐嗣、大村實良、藤田博保、松山仁、高山行雄、名越英昭(順不同・敬称略)



懇親会会場に軽快なマーチが響いてきた。聖者の行進(聖者が街にやってくる)をサクソで演奏しながら会場内を練り歩いていた。(写真右)田部俊彦さん(S52法律)と女性(名前・素性不詳)二人の演奏でアトラクションの幕開けである。続いてチアリーダー部の華やかな



かな演舞が会場を魅了し、前年度に全九州学生大会三連覇を果たした少林寺拳法部の演武が繰り広げられた。やがて土田会長や権頭委員長等が抽選者

となって恒例の福引抽選会が始まった。1等は1本で3万円の商品券、2等2本で2万円の商品券、その他ビール券やリカロイヤルホテル小倉ペアディナー券等々、合計135人に当たるのだが筆者には縁

がなかった。

会場一杯に大きな輪になって、応援団OB・OGの揃い踏みで道遥歌の大合唱でフィナーレを迎えた。

兵庫支部の役員派遣制度のお陰で楽しい思い出ができました。多謝!多謝! 名越英昭(S37米英)記



特別講演「アンちゃんから見るニッポン」要旨

牛丸敬孝(S51中国)

10月27日(日)同窓会本部総会・懇親会に出席し北九大准教授のアン・クレシーニ先生の講演があり、その講演内容を簡単に紹介します。



アン先生は1997年に来日されて、2003年より北九大で教鞭を取られています。テレビやラジオにも出演され、沢山の著書も執筆されていますので既にご承知の方も多いかと思えます。先生は米国ヴァージニア州出身で日本に興味があって来日されたのではなく、単に彼氏が日本に行ったので追いかけて日本に来られたのです。従って日本には興味も知識も全く無かったです。生活の為に日本語を覚える必要があり、日本の気候風土や生活習慣にも慣れる必要がありました。特に辛かったのは、日本家屋の寒さ(セントラルヒーティングが無い)と食事。ヴァージニア州の人口7,000人余りの町では魚は水族館でしか見たことが無くて魚を食べると言う事は想像すら出来なかったそうです。日本で生活するうちに次第に日本の文化、中でも日本の言葉に興味をもたれました。アン先生が日本の言葉を学問として研究する理由は、日本文化や日本人を「理解」する為です。日本の言葉は三つの言葉「漢語」「和語」「外来語」で出来ており、特に「外来語」を研究されました。今や日本語に占める外来語は実に20%で毎年増加の一途です。歴史の流れに沿って(中国)(朝鮮)、ポルトガル、オランダ、英国、フランス、ドイツ、米国等々からモノやサービスと一緒に来ています。和製英語も研究され、マイホーム(one's own home)、シャーペン(mechanical pencil)、ハンドル(steering wheel)、オープンカー(convertible)、トレーナー(sweatshirt)等々実例を挙げて説明され、発音し易い、意味が伝わり易い、覚え易い、聞き取り易いなど一定の法則があり、日本人ならではの発想、知恵、考え方が見えてくるとのこと。また英訳し難い日本語として「適当」「微妙」「一応」「お疲れ様」「なんとなく」「宜しくお願いします」「単身赴任」「ご苦労様でした」「お先に失礼します」等々を挙げこの様な日本語が独特の日本文化やコミュニティを作り上げていると。

アン先生は3人の娘さんの母として日本で暮らしておられますが、ご家族ではアン先生だけが2023年に念願の日本国籍を取得されました。アン先生の著作は兵庫県内の図書館でも読むことが可能です。ご興味のある方は是非一度アン先生の著作を読んで見て下さい。私たちの知らない日本や日本の言葉に出会うかも。

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています  
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

黒ニンニクと黒豆のおむすび

第133回は「黒ニンニクと黒豆のおむすび」です。いただき物の黒ニンニクと黒枝豆を使って。



<材料>小4個分

- ご飯 …………… 250g
- 黒ニンニク …… ひとつかけ
- 黒豆 …………… 30粒

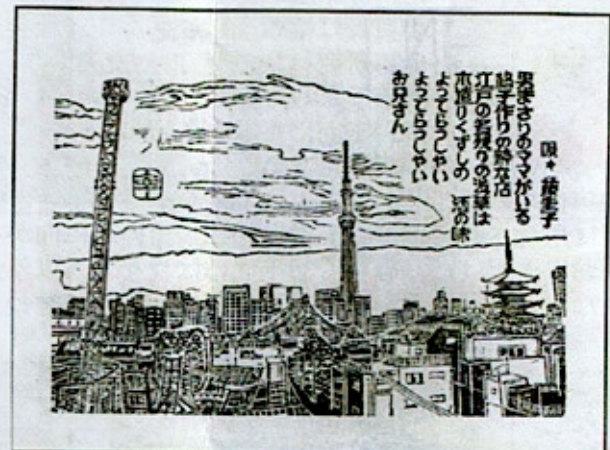
<作り方>

1. 黒枝豆を茹で、30粒とります。
2. 黒ニンニクは5mm角に刻みます。
3. 温かいご飯に、1と2を加え、混ぜて四等分にします。
4. 3を結んで、お皿に盛り、いただきます。

誰かに握ってもらったおむすびは、美味しく感じられますね。それは、握った方の暖かい心がこもっているからかもしれませんね。人と人の大切な結びつきを感じるおむすびは、まさに日本人のソウルフードですね!

江藤幸嗣氏(S50国文)木版画集 第67回

作品No.184 浅草 2018(平成30)年作



浅草

平成29年度・東京は都庁→花やしき→明神神社。  
老人割引あり。但し、遊具規制もあり。

今回は、No.139「かなやプラン」同様の倍サイズ。  
空は条件なしでフリーハンド。歌詞も障害無し。  
その割に、手関節かなり苦戦しました。  
集中力や気力が落ちてせつちかちになってきているかも(・・?)

### 葉隠を旅枕に

## イタリア紀行(最終回)

桜田靖

六 一日一死

(承前) 一日一死の覚悟は大袈裟な物言いだ、遠い異国の旅こそ一期一会を強く意識する。紀元前千年以上前の古代中国の言葉「日々新、又日新」然り、もう生涯で二度と再び会わない行きずりの人々を想うと一日一死の繋がりを感じる。

ローマのトレビの泉で幸運を願ってコインを投げてスペイン広場から古色蒼然たる街路を巡って共和国広場にたどり着いたら疲労を覚えた。憩いにそばのサンタマリア・デリ・アンジェリ教会に入ったら結婚式の最中でハモンドオルガンのウェディングマーチが響いていた。突如一人の老紳士が床に倒れた。やがて救急隊が来て担架で運んだ。そこで新生の挙式が営まれ、一方で逝きかけた老人は教会の高い天井を指さしていた。こよない昇天を祈ったのだろうか。

サレルノ市のそば、ろくに観光客も来ない鄙びたヴェテリ スル マーレの町中で、普段着の老人から「ジャポネ?」と話しかけられた。親し気にするが、イタリア語しか話さないのが話が見えない。辛うじて「セラミック」という単語が掴めた。休館日だったがマヨルカ焼きの陶器会館があったので、それを自慢したかったようだ。南イタリアがアラブ文化の影響で迷路が多い。タイル屋の並ぶ町には孔雀の羽根売りがいて、少年少女達が祭りの予行演習で騒いでいた。窓々に洗濯物がはためく古アパートの路地に入った。地上の婦人と三階の窓の婦人が喚き散らし、親父達が地べたにしゃがんでいた。老婆が店番の小さな暗い商店を見つけ「ボンジョルノ、アクア、ノンガズズ(無炭酸水)」でたために喋って指を二本立てたら通じて「ウノ(一ユーロ)」とボトル二本の水が買えた。

「一日は仕切りなるべし」異国の旅で出逢いの人達もう生きて二度と会う日はないのだ。(終)

### 兵庫支部月例親睦会「三金会」会場ご案内

## 居酒屋「おうみや」駅前店

神戸市中央区琴ノ緒町5-3-5グリーンシャワービル1F

JR三ノ宮駅東口北出口(山側)道路を挟んで向かいのビル1

Tel.078-221-3115

「開催日時」

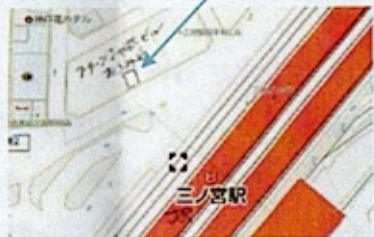
毎月第三金曜日

午後6時~8時予定

「会費」

約3000円(男女とも)

(実費割り勘)



### 第276回「歩こう会」12月例会ご案内

## 第22回グルメ旅、トルコ料理編

### Flat歩いて世界一周gourmetの旅

12月15日(日)11時半JR元町駅東改札口前集合

歩こう会例会日は12月8日(日)ですが、忘年会が前日の7日(土)に開催されますので、1週間延期して12月15日(日)に開催します。

第1回グルメ旅を2021年5月日本料理から出発し、韓国、中国、ベトナム、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、インド、シンガポール、ミャンマー、台湾、日本、韓国、イタリア、ベトナム、パキスタン、フランス、中国、北朝鮮、ドイツと訪ねて今回はトルコを訪問します。

下記開催要領をご覧の上ご参加申込よろしくお願います。

記

第276回「歩こう会」12月例会

第22回グルメ旅、トルコ料理編

開催日時：令和6年12月15日(日)午前11時半

集合場所：JR元町駅東改札口前

訪問店：RAFI DREAM KEBAB ラフィドリームケバブ  
神戸市中央区北長狭通3-30-80ピアザKobe 3  
ケバブ各種、海老など少量をワンプレートで提供、トルコスープなど立食で行います。



予算：¥2,000.-(ドリンクは別料金)

参加申込：12月13日(金)まで

申込先：安徳信義

メール antoku@icloud.com

携帯 090-3718-9204

兵庫支部月例会 10月例会

「囲碁の会」10月18日(金) @神戸囲碁

参加者4人

右から

山本信司2段

安徳信義4級

名越英昭1級

平間正昭3段



「三金会」10月18日(金)@居酒屋おうみや駅前店

左から

名越英昭S37米英

山本信司S37米英

安徳信義S44商

平間正昭S37商



第275回「歩こう会」11月例会

第23回西国街道ウォーク

JR竜野駅→片島宿本陣跡→JR相生駅 約6キロ

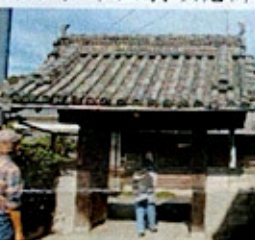
11月の歩こう会は23回目となる西国街道ウォークで、JR竜野駅からJR相生駅までの約5キロである。比較的短距離の行程なので竜野駅北側にある神戸(かんべ)神社へ寄り道して出発することにした。

参加者は、安徳信義(S44商)牛丸敬孝(S51中国)濱田勝義(S44米英)真島秀幸(S48経営)および筆者名越英昭(S37米英)の5人である。

竜野駅前(南側)から西寄りにある線路横断の橋「ふれあい橋」を渡り北側へ出て神戸神社へ向かう。ご祭神は大己貴命(オホニギハヒコ)別名大国主命と少彦名命(スクナヒコノミコ)で昭和52年に本殿を移し新社殿を造営したと由緒に説明。まずは道中の安全祈願



(神戸神社本殿)をして西国街道へ戻る。少し歩いた所で大きな石碑が目に入る。圓尾幸藏彰功碑と読める、が詳細は不明。数日前の寒さが嘘のようなポカポカ陽気で上衣を脱いでのウォーキングだ。また石碑があり、平田翁頌徳碑とある。この辺りの街道には空家



や廃屋、あばら家が目に付く。了福寺の山門前に到着した。片島宿山本家本陣の正門が移築されたものという。(写真左)少し進むと糸紡ぎ車の絵図が描かれたのれん



がかけていた家があった珍しいのでカメラの納める。さらに進むと大きな屋敷の門前に「旧片島本陣址」と表示の石碑が立っていたのを見つけた。(写真左)片島宿は竜野駅東の正條宿と二つの宿で一単位として機能する相合宿、客と荷物は上りのみ取り扱い、下りは正條宿の役割と分担していた。馬路川のこう

み、真島氏が事前にチェックの昼食場所へと西国街道をはずれ、約600m北の2号線沿いの「播磨の里」相生店へ向かった。12時前で客は我々だけのようだ。ハンバーグ定食を注文する配膳ロボットが運んできた。(写真左)昼食後引き返し西国街道に戻り西進する。二手に分かれる分岐点で街道は



左手だが、「下根性大根生誕地」へ行ってみようと右手の道を進んだ。途中安徳さんが指さして「くも！」と言うので空を見上げるも何の変哲もない雲、と思いきや蜘蛛が空から降臨してきていた。(右)えっ！よく見つけたな、と感心する。



右手にこんもりと盛り上がった小山がみえる。塚森古墳である。五世紀末頃の築造と思われ、元は帆立貝形前方後円墳だったが、明治時代に前方部を削って土を運び、山陽鉄道(現JR山陽本線)敷設工事に使用されたという。墳丘の高さは約6m、直径は約40m、相生市域最大規模の古墳だとのこと。次回1月訪ねることになる若狭野陣屋の表御門が移築されている西法寺を訪ねた。(写真左)境内には「下根性大根大ちゃん」の一部が



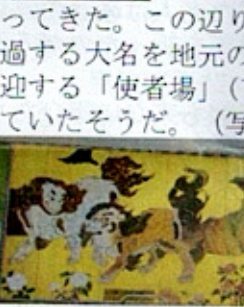
納められた「下根性わらべ地蔵」があった。(写真右)ネットで得た情報で「生誕地」は新幹線と交差する道路付近だと、探してみたが見当たらず諦めて街道に戻った。平成17年アスファルトを押し

て育ちそのど根性ぶりが全国的な話題になったもの。相生市観光協会の写真等をご参考まで。

那波野郵便局前までや



ってきた。この辺りに参勤交代で通過する大名を地元の藩主の使者が送迎する「使者場」(下座所)が置かれていたようだ。(写真右)局舎の壁に相生産業高校生が制作の「獅子牡丹絵図」が掲げられていた。しばらく進むと「竹室庄左衛門頌徳碑」が立っていた。



大石町の交差点を過ぎ、普光沢川(ふこさがわ)を渡ると右手に新幹線と相生駅舎の一部が見えてきた。予定では直進するつもりだったが、ゴールを急ぐ心が新幹線へ向かって右折してしまった。鮎川(あゆかえりがわ)を渡ると相生駅はすぐそこだ。電車は50分後



だ。駅前ビールでも、と探すが見当たらず、駅の横にある「あいおい情報ラウンジ」観光案内兼待合所で自販機の飲み物などで事案を過ごし、14:20発の電車で帰路に就く。次回1月は相生→有年 8km。

「囲碁の会」定例会

毎月第3金曜日午後2時～午後5時半

会場: 囲碁会館「神戸囲碁」  
神戸市中央区北長狭通1-32-1  
Tel.078-321-2534  
JR高架下阪急楽天地2F東端  
阪急神戸三宮駅から徒歩1分  
会費: 会場入場料¥800のみ



初心者歓迎！ 気楽にお出で下さい！